■安全上のご注意

シェルターをご使用になる前に必ずお読みください。

シェルター使用上の注意

常に換気にご注意ください。

このシェルター本体の生地には通気性がありません。常に本体上部と出入り口上部の二カ所のベンチレーターが開き、換気が充分に行われているのを確認してください。ベンチレーターが適切に機能していない場合、酸素欠乏や有害なガスがシェルターに充満するなど、人体が危険な状態に陥る可能性があります。

冬季には使用しないでください。

冬季等の気温が低い条件下では、ベンチレーターの結露や凍結、積雪等で換気性能が低下する恐れがあります。

シェルター内やシェルター近くでは、絶対に火気を使用しないでください。

ベンチレーターは正しく使用してください。

ベンチレーターのひさしが正しい状態でご使用ください。ひさしが曲がっていたり、潰れていたりすると、換気性能が低下する恐れがあります。

悪天時の使用にはご注意ください

シェルターの本体生地には耐水圧 600mm程度のコーティングを施しておりますが、激しい雨や悪天候の状況下では漏水や結露するおそれがありますので使用には十分ご注意ください。

漏水にはご注意してください。

入口部及び頂点部のベンチレーターは激しい雨の際に漏水する恐れがあります。より防水性を高めるため、縫製箇所（下図太線部）に市販の目止め剤を生地表側より塗布することをおすすめします。

- ●このシェルターに使用している超軽量素材は、充分な強度はありますが、鋭利な岩場などで部分的に強い摩擦・衝撃が加わると、破損を招く恐れがあります。
- ●シェルターとして使用の際には必ずペグで固定してください。砂地などでは状況に応じたペグ等が別途必要です。
- ●キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- ●設営地はできるだけ平坦地を選び、危険のない場所を選んでください。
- ●ナイロンは太陽光線による紫外線劣化の影響がありますので、数ヶ月張ったまま放置しますと著しく寿命が縮まります。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。
- ●台風や、落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指事に従い、安全な場所に避難してください。

■アフターケア

間違ったメンテナンスや保管方法はシェルターの寿命を縮めます。
使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

お手入れ方法・保管方法

- ○使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干しして乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置すると色移りやカビの発生する可能性があり、また生地も劣化しやすくなります。
- ○ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。
- ○長期の使用により、フライシートやグラウンドシートなどの撥水性能（水を弾く力）が低下した場合は別売の S.R. スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ○ジッパーの動きが固くなりましたら、別売りのスムースライダー™ やローソクのロウを塗ると回復します。

長期間使用しない時の保管方法

- ○シェルター本体はゆったりとたたんで風通しの良い場所に保管してください。通常使用しているスタッフバッグはきつくたたまないと入らない大きさですので使用しないでください。
- ○ポールは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。

モンベルでは品質管理に万全を期しておりますが、万一不良が生じた場合、お買い求めの販売店を通してご返送ください。無償修理、もしくは交換させていただきます。ただし間違ったご使用や、製品不良以外の原因による故障につきましては有償修理となります。

株式会社モンベル 本 社 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで
Tel. 06-6531-3544 フリーコール： 0088-22-0031
モンベルホームページ http://www.montbell.co.jp

44-226-1112

U.L. DOME SHELTER 1,2

U.L. ドームシェルター 1,2

超軽量素材を使用し
世界最高レベルの軽量コンパクト性を実現した
超軽量シェルター

この度は「U.L.ドームシェルター」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
この商品は超軽量・コンパクトをテーマに開発された３シーズン対応シングルウォール構造の自立式シェルターです。
キャノピーにはバリスティックエアライト® を使用し世界最高レベルの軽量・コンパクト性を実現しています。
登山家をはじめ、サイクリストやバックパッカーまで自然を愛するすべての方々にお使いいただけます。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みいただき、部品等の確認をしてください。
なお、ご不明な点などございましたら、販売店もしくは弊社カスタマー・サービスまでお問い合わせください。
この説明書は大切に保管してください。

U.L. ドームシェルターは「テント」ではありません。
正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。

■仕様　実際にシェルターをご使用になる前に部品の欠品が無いことをご確認ください。

構成部品および内容明細

シェルター本体

収納袋
取扱説明書（本書）

フレーム 2 本

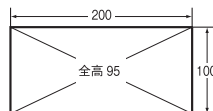
各パーツ仕様

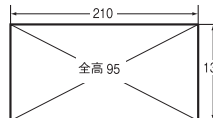
●キャノピー：バリスティックエアライト®
（15デニール・ナイロン・リップストップ）
ウレタンコーティング
●グラウンドシート：（30デニール・ナイロン・リップストップ）
ウレタンコーティング
●フレーム：本体ポール：超々ジュラルミンポール φ8.5mm
ショックコードつき。

重量および寸法

図中の単位は cm です。

■1 型 #1122376
760g（総重量：780g）
（スタッフバッグを含む）

200
100
全高 95

■2 型 #1122392
865g（総重量：890g）
（スタッフバッグを含む）

210
130
全高 95

■設営手順　実際にフィールドへ出かける前に、必ず試し張りを行ってください。

1・設営場所の選択

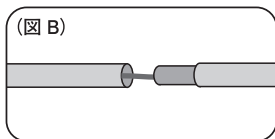
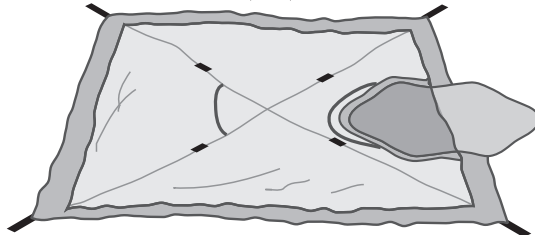
本商品は無雪期の登山や沢登り、ツーリング用途として設計されています。設営地に指定されている場所でも台風などの強風や豪雨などの厳しい自然条件下では、十分に注意し設営してください。また稜線上や大木、広い草原では落雷にも注意してください。
設営後、気象予報などで風が強くなりそうな情報があれば、石などを積み重ねてまわりを囲って防風壁を作ってください。
なお、設営前に出入口は風下側を選びます。

2・組み立て

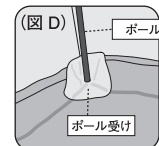
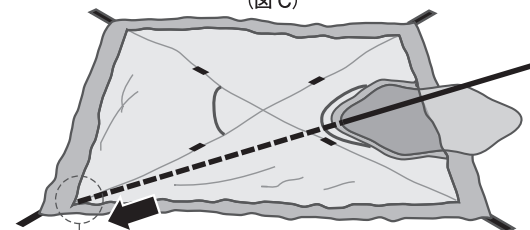
(1) 出入り口を開けて上にしてシェルター本体を広げます（図 A）。強風時には風でシェルターが飛ばされないようペグ（別売り）などで仮留めしてください。

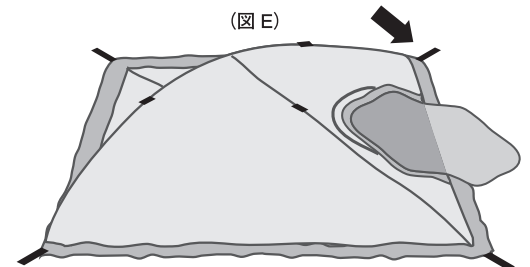
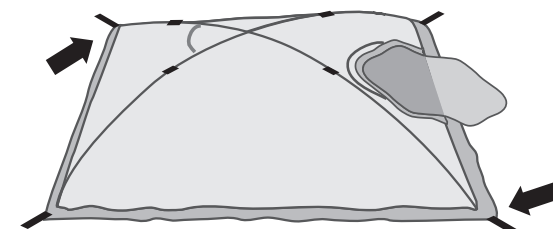
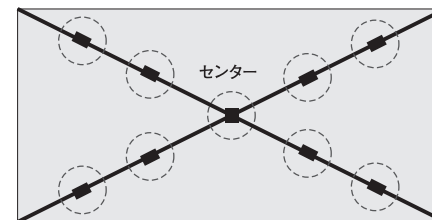
（図 A）

(2) フレームの中に通っているショックコード通りにジョイントを接続しフレームを組み立ます（図 B）。この時フレームは最も長い状態となりますので、周囲に障害物や人がいないかを注意してください。

（図 B）

(3) 出入り口を全開にして、出入り口からフレームを差し込みます（図 C）。シェルターの中に入り、フレームの先端を本体内部の四隅のポール受けにセットします（図 D）。
この時正しくフレーム先端が正確にポール受けに入っているのを確認してください。フレームが正しくポール受けに入っていないと、本体を傷つける恐れがあります。

（図 C）

（図 D）

(4) フレームを湾曲させてもう一方の先端を対角線側のポール受けにセットします（図 E）。

（図 E）

(5) もう一本のフレームを (3) (4) の手順でセットします。

(6) フレームをシェルター内部の 9 カ所のベルクロで固定します。ベルクロはセンターから固定し、キャノピーの縫い目にフレームが合うように調節しながら固定します。

3・シェルターの固定

張り綱は風が吹くことを想定して必ず取り付けてください。4 カ所から張り綱をとります（図 F）。フライシート裾部のループもペグで固定します。なお、このシェルターに張り綱、ペグ、ハンマーは付属していません。

（図 F）